

## 自動コーディング用の入力ファイルの形式について

### (1) 入力ファイルの全体の概要

自動コーディングシステムは、以下の形式に則った、1行が1つの職業（あるいは産業）分のデータとなるように入力されたCSV形式のファイルが必要です。

ただし、そのファイルでは「項目名」は付けず、1行目からデータを入力して下さい。

|                   |        |    |
|-------------------|--------|----|
| A列：通し番号*          | (数字)   | 半角 |
| B列：学歴             | (選択回答) | 半角 |
| C列：地位・役職          | (選択回答) | 半角 |
| D列：産業（従業先事業の種類）** | (自由回答) | 全角 |
| E列：職業（仕事の内容）*     | (自由回答) | 全角 |
| F列：従業先の規模         | (選択回答) | 半角 |
| G列：SSM職業コード***    | (数字)   | 半角 |

・\*印の項目は必須。\*\*印の項目は産業コードには必須。\*\*\*印の項目は、利用者側ですでにSSM職業コードを与えたデータに対し、新たにISCO-88コードを付与したい場合に必須。

- ・\*印以外の項目は必須ではありませんが、自動コードの回答精度に影響します。
- ・「.」（全角ピリオド）、「.」（半角ピリオド）、「全角空白」、「?」、「〒」、「☆」などの特殊文字は、処理上問題になるため、削除してください。
- ・回答の最後に「。」を付けないで下さい（途中に入っても問題ありません）。  
悪い例：保健会社の事務。

ファイルの入力例

|      |    |    |             |               |    |
|------|----|----|-------------|---------------|----|
| 11   | 10 | 9  | 保険会社の支店     | 保険会社の事務       | 11 |
| 12   | 12 | 8  | 会社の売店       | 販売員           | 8  |
| 62   | 9  | 7  | 夫の社会保険事務所   | 社会保険事務所の総務、経理 | 3  |
| 121  | 10 | 2  | コンピューターメーカー | コンピューター会社の技術系 | 8  |
| 289  | 9  | 10 | 農業          | 野菜を作っている      | 2  |
| 465  | 9  | 1  | 訪問介護事業      | 訪問介護の経営、介護福祉士 | 4  |
| 702  | 13 | 14 | 無回答         | 小学校の教員        | 13 |
| 1093 | 13 | 14 | 無回答         | 営業(外回り)       | 13 |
| 1527 | 13 | 14 | 無回答         | 重機のオペレーター     | 13 |

### (2) 各項目の説明

#### ①A列：通し番号

- ・一つの職業に一つの通し番号が必要となります。
- ・回答者1人に対して複数の職業についての回答がある場合、それぞれの職業について別のファイルとして作成して下さい。（例：回答者一人に現職と初職の回答がある場合、現職用ファイルと初職用ファイルの二つをご用意下さい）

#### ②B列：学歴の選択肢

学歴についてはシステム上、日本版総合社会調査（JGSS）で用いられた以下のコードを用いて

処理しています。そのため、他の選択肢で行った調査データの場合は、以下のコードに合わせてリコードしてください。

|   |                    |    |         |
|---|--------------------|----|---------|
| 1 | 旧制尋常小学校（国民学校を含む）   | 8  | 新制中学校   |
| 2 | 旧制高等小学校            | 9  | 新制高校    |
| 3 | 旧制中学校・高等女学校        | 10 | 新制短大・高専 |
| 4 | 旧制実業学校             | 11 | 新制大学    |
| 5 | 旧制師範学校             | 12 | 新制大学院   |
| 6 | 旧制高校・旧制専門学校・高等師範学校 | 13 | わからない   |
| 7 | 旧制大学・旧制大学院         |    |         |

③C列：従業上の地位・役職の選択肢

従業上の地位や役職についてはシステム上、以下のコードを用いて処理しています。他の選択肢を用いて行った調査の場合は、以下のコードに合わせてリコードしてください。

|   |                 |    |                |
|---|-----------------|----|----------------|
| 1 | 経営者・役員          | 8  | 臨時雇用・パート・アルバイト |
| 2 | 常時雇用の一般従業者 役職なし | 9  | 派遣社員           |
| 3 | 〃 職長、班長、組長      | 10 | 自営業主・自由業者      |
| 4 | 〃 係長、係長相当職      | 11 | 家族従業者          |
| 5 | 〃 課長、課長相当職      | 12 | 内職             |
| 6 | 〃 部長、部長相当職      |    |                |
| 7 | 〃 役職はわからない      | 14 | わからない          |

④D列：産業（従業先事業の種類）、E列：職業（仕事の内容）

回答の自由記述の内容を「全角（のみ）」で入力して下さい。

またシステム処理の関係上、以下の諸点にご注意下さい。

- ・半角文字を含めないこと
- ・英字は大文字のこと。
- ・空白（含「全角空白」）やピリオド（.）、特殊な記号（?、〒、→、@、☆など）を含めないこと。

以上の問題があるファイルは適切に処理できないため、特にご注意ください。

⑤F列：従業先の規模（企業規模）の選択肢

従業先の規模（企業規模）についてはシステム上、日本版総合社会調査（JGSS）で用いられた以下のコードを用いて処理しています。そのため、他の選択肢で行った調査データの場合は、以下のコードに合わせてリコードしてください（※）。

|   |          |    |              |
|---|----------|----|--------------|
| 1 | 1人       | 8  | 500～999人     |
| 2 | 2～4人     | 9  | 1,000～1,999人 |
| 3 | 5～9人     | 10 | 2,000～9,999人 |
| 4 | 10～29人   | 11 | 1万人以上        |
| 5 | 30～99人   | 12 | 官公庁          |
| 6 | 100～299人 | 13 | わからない        |
| 7 | 300～499人 |    |              |

※) 実施された調査の選択肢が、JGSS よりも粗い企業規模カテゴリとなっているデータの場合 (たとえば「10～99 人」という選択肢がある場合など)、上記のコードをそのまま当てはまることはできません。

その場合の対処としては、

①自動コーディングシステムが職業コードを付与する際に、「30 人以上の規模の企業か、以下の企業か」で管理職の処理が異なり、「1 人、5 人未満、30 人未満、100 人未満、官公庁」という区分が、仮コード修正に一定程度用いられるので、この情報を考慮の上、どのようにコードを与えるべきかを判断する

②機械的に中央値で置き換える (10 人～99 人の場合は、 $(10+99) \div 2 \approx$  「55 人」→「30～99」に含める)

等の方法が考えられます。どのような方法が適切かは、研究目的や内容によるかと思しますので、利用者さまの方で適宜ご判断ください。

#### ⑥G 列：SSM 職業コード

利用者側で SSM 職業コードをすでに付与しているデータに対して、ISCO コードを新たにコーディングしたい場合に記入ください。不明や無回答の場合は「999」と記入し、無回答のないようにしてください。